

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2008-255184(P2008-255184A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2007-97361(P2007-97361)

【国際特許分類】

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

B 3 2 B 7/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 7/04 C F D D

B 3 2 B 27/36

B 3 2 B 7/02 1 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月27日(2010.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

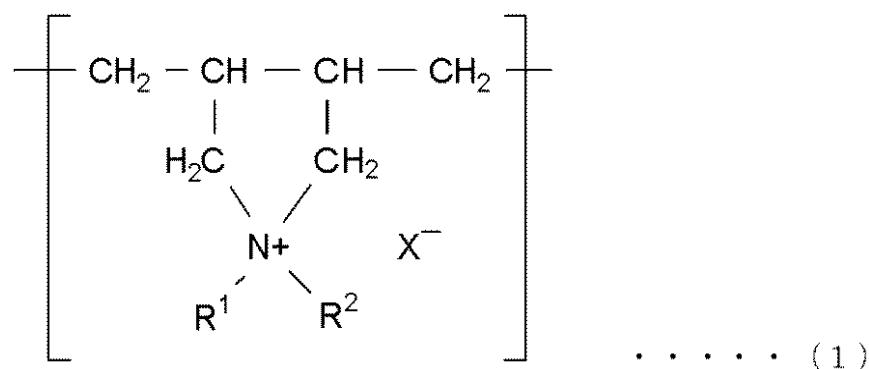
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

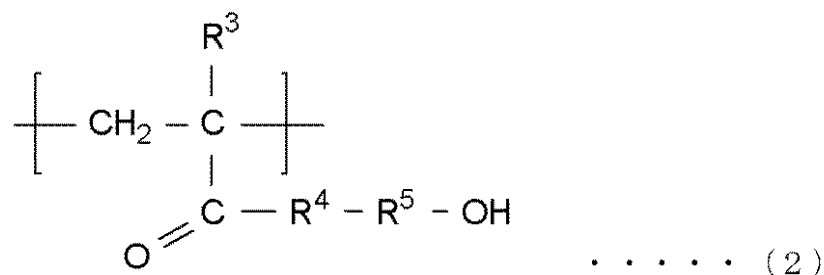
下記構造式 1 および 2 で示される構成要素を繰返し単位として有する帯電防止性高分子化合物と、熱硬化性樹脂とを含有する塗布層をポリエステルフィルムの一側の面に有することを特徴とする表面保護フィルム用ポリエステルフィルム。

【化 1】



(上記式中、 R^1 および R^2 はそれぞれ独立して、水素原子または炭素数が 1 ~ 3 のアルキル基であり、 X^- は 1 価の陰イオンである)

【化 2】



(上記式中、 R^3 は水素原子または炭素数が 1 ~ 3 のアルキル基であり、 R^4 は - O - または - NH - 、 R^5 は炭素数が 1 ~ 6 のアルキレン基である)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

すなわち、本発明の要旨は、下記構造式 1 および 2 で示される構成要素を繰返し単位として有する帯電防止性高分子化合物と、熱硬化性樹脂とを含有する塗布層をポリエステルフィルム的一方の面に有することを特徴とする表面保護フィルム用ポリエステルフィルム、および当該フィルムの塗布層の反対側の面に微粘着層を有することを特徴とする光学部材表面保護用ポリエステルフィルムに存する。

【手続補正 3】

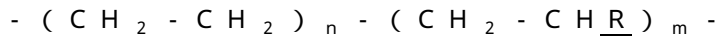
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】



(上記式中、R は水素または炭素数が 1 ~ 6 のアルキル基、n は 1 以上の整数、m は 0 または 1 以上の整数を表す)

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0077

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0077】

(D1) : 酸化ポリエチレンワックス水分散体である、東邦化学工業製ハイテック E - 8000

(D2) : ガラス製反応容器中に、パーフルオロアルキル基含有アクリレートである $CF_3(CF_2)_nCH_2CH_2OCOCH=CH_2$ ($n = 5 \sim 11$ 、 n の平均 = 9) 80.0 g、アセトアセトキシエチルメタクリレート 20.0 g、ドデシルメルカプタン 0.8 g、脱酸素した純水 354.7 g、アセトン 40.0 g、 $C_{16}H_{33}N(CH_3)_3Cl$ 11.0 g および $C_8H_{17}C_6H_4O(CH_2CH_2O)_nH$ ($n = 8$) 3.0 g を入れ、アゾビスイソブチルアミジン二塩酸塩 0.5 g を加え、窒素雰囲気下で攪拌しつつ 60 で 10 時間共重合反応させて得られたフッ素含有樹脂エマルジョン